

## 箏曲「六段の調」

本題材で育成する資質・能力

課題発見・解決力，主体性

日時 令和4年 9月 16日（金） 5校時  
学年 第1学年 男子5名，女子6名，計 11名

## 1 題材について

## (1) 題材観

本題材は，中学校学習指導要領（平成29年3月告示）の第1学年「B鑑賞」ア(イ)，イ(イ)，共通事項アを組み合わせたものであり，「音楽の特徴とその背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりについて理解するとともに，生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え，音楽のよさや美しさを味わって聴くこと」をねらいとする。箏は奈良時代に中国から伝来し，日本で発展を遂げた楽器であり，日本の音楽の発展とともに様々な名曲が誕生してきた楽器である。そのため，箏の歴史や箏の楽器の構造などについて学習することを通して，音楽の背景となる文化や歴史，他の芸術との関わりを理解することができる。箏曲「六段の調」は，日本の音楽の特徴である「序破急」や「間」を知覚することができる曲である。また，曲中にさまざまな奏法が使われているため，音色に着目しやすい。このことから，本題材は上記のねらいを達成するのに適した題材である。

## (2) 本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわり

本校として，以下の資質・能力の育成に重点を置いている。

【思考力・判断力・表現力】	① コミュニケーション能力	② 課題発見・解決力
【学びに向かう力・人間性】	③ 主体性	④ 自己理解

この中から，本題材において育成しようとする資質・能力とのかかわりについて，次の2点に重点を置くものとする。

## 【思考力・判断力・表現力】

## ② 課題発見・解決力

自ら課題を発見し，解決方法を試行錯誤して導くことを目標とする。本題材では，課題に対して生徒が情報を集めて答えを予想する時間を大切にすることで課題発見・解決力を育成する。

## 【学びに向かう力・人間性】

## ③ 主体性

課題に対して自分の考えを持ち，積極的に他者と協働しながら問いに対する答えを導くことを目標とする。本題材では，生徒一人一人が自らの考えを他者と交流したり，互いの気づきを共有し，感じ取ったことなどに共感したりしながら個々の学びを深められるように指導する。

### (3) 生徒観（調査結果から見る課題）

音楽科に関して本学年の生徒に意識調査をした結果が以下の通りである。（肯定的評価）

- |   |
|---|
| ①音楽が好きです。(100%)                                   |
| ②楽器を演奏することは好きです。(100%)                            |
| ③日本の伝統的な音楽（箏や尺八，和太鼓，篠笛など）について学習してみたいと思います。(85.7%) |
| ④箏を演奏してみたいと思います。(85.7%)                           |
| ⑤授業では，自分の考えを積極的に伝えています。(71.4%)                    |
| ⑥授業では，友だちと話し合うなどして，自分の考えを深めたり，広げたりしています。(71.4%)   |
| ⑦発表する時や話し合う時に，相手に分かりやすく伝わるような工夫しています。(71.4%)      |

意識調査の結果から，本学年の生徒は音楽に興味・関心が高いことがわかる。しかし，質問項目③④から，日本の伝統的な音楽に限定すると，興味・関心が少し下がることが分かった。また，質問項目⑤⑦から，授業で自分の考えを伝えたり，他者の考えを聞いたりして考えを深めることについては，約3割の生徒が不十分であると感じていることが分かった。

また，意識調査の中の「鑑賞の授業で音楽を聴く時に，いつも気をつけて聴いている音楽の要素はありますか。」という質問項目に対しての結果は以下の通りである。

- |                |             |             |
|----------------|-------------|-------------|
| ①曲の雰囲気 (42.9%) | ②音色 (42.9%) | ③旋律 (42.9%) |
| ④リズム (57.1%)   | ⑤速度 (57.1%) | ⑥強弱 (71.4%) |

この結果から，本学年の生徒は曲の雰囲気や音色，旋律に着目して聴くことが不十分であると分かった。

### (4) 指導観（指導改善のポイント）

同系統の既習事項については，小学校で箏の演奏を聞き，楽器の演奏を体験したが，中学校で日本の伝統的な音楽について学習するのは本題材が初めてである。本題材は，中学校3年間の学習の導入として，日本の伝統的な音楽に興味・関心を持ち，自ら主体的に学ぼうとする姿の育成を目指す。また，アンケートの結果を踏まえ，鑑賞の活動においては，音色・速度・旋律に着目して聴く活動を取り入れる。そして，「学び合い」によって，すべての生徒が自分の考えを伝えたり，他者の考えを聞いたりして考えを深められるよう指導する。

## 2 題材の目標と評価規準

### (1) 題材の目標

箏曲「六段の調」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、箏曲「六段の調」のよさや美しさを味わって聴く。

### (2) 題材の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
箏曲「六段の調」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。	箏曲「六段の調」の音色・速度・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。	箏の音色や箏曲「六段の調」の旋律・速度に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

## 3 指導と評価の計画

(全3時間)

次	学 習 内 容	評 価			
		知	思	態	評価規準 (評価方法)
	本質的な問い 時代を越えて受けつがれてきた日本の伝統音楽の、よさや美しさはどのようなところにあるか。				
	題材を貫く問い 時代を越えて受けつがれてきた箏の、よさや美しさはどのようなところにあるか。				

1	<p>箏曲「六段の調」を奏法に注目して鑑賞することを通して、奏法が生み出す特質や雰囲気を感じ取る態度を養う。</p> <p>課題の設定</p> <p>「学び合い」を取り入れた授業</p> <p>情報の収集</p>	○		<p>○箏曲「六段の調」の音色・速度・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。(イ/ワークシート、フォーム)</p> <p>◎◎箏の音色や箏曲「六段の調」の旋律・速度に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(ウ/ワークシート、フォーム)</p>
2	<p>箏曲「六段の調」を鑑賞し、曲の構成や序破急、都節音階、箏の歴史について理解する。</p> <p>情報の収集</p>	◎		<p>◎箏曲「六段の調」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。(ア/ワークシート)</p> <p>○◎箏の音色や箏曲「六段の調」の旋律・速度に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(ウ/ワークシート、観察)</p>
3	<p>学習したことを踏まえて箏曲「六段の調」を聴き、曲や楽器のよさや美しさについて、自分の言葉でワークシートにまとめ、発表する。</p> <p>整理・分析</p> <p>まとめ・表現</p>	○	◎	<p>○箏曲「六段の調」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。(ア/ワークシート)</p> <p>◎箏曲「六段の調」の音色・速度・旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取しながら、知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。(イ/ワークシート)</p> <p>○◎箏の音色や箏曲「六段の調」の旋律・速度に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(ウ/ワークシート、観察)</p>

## 4 本時の学習

### (1) 本時の目標

箏曲「六段の調」を奏法に注目して鑑賞することを通して、奏法が生み出す特質や雰囲気を感じ取る態度を養う。

### (2) 準備物 箏, ワークシート, クロームブック, 筆記用具

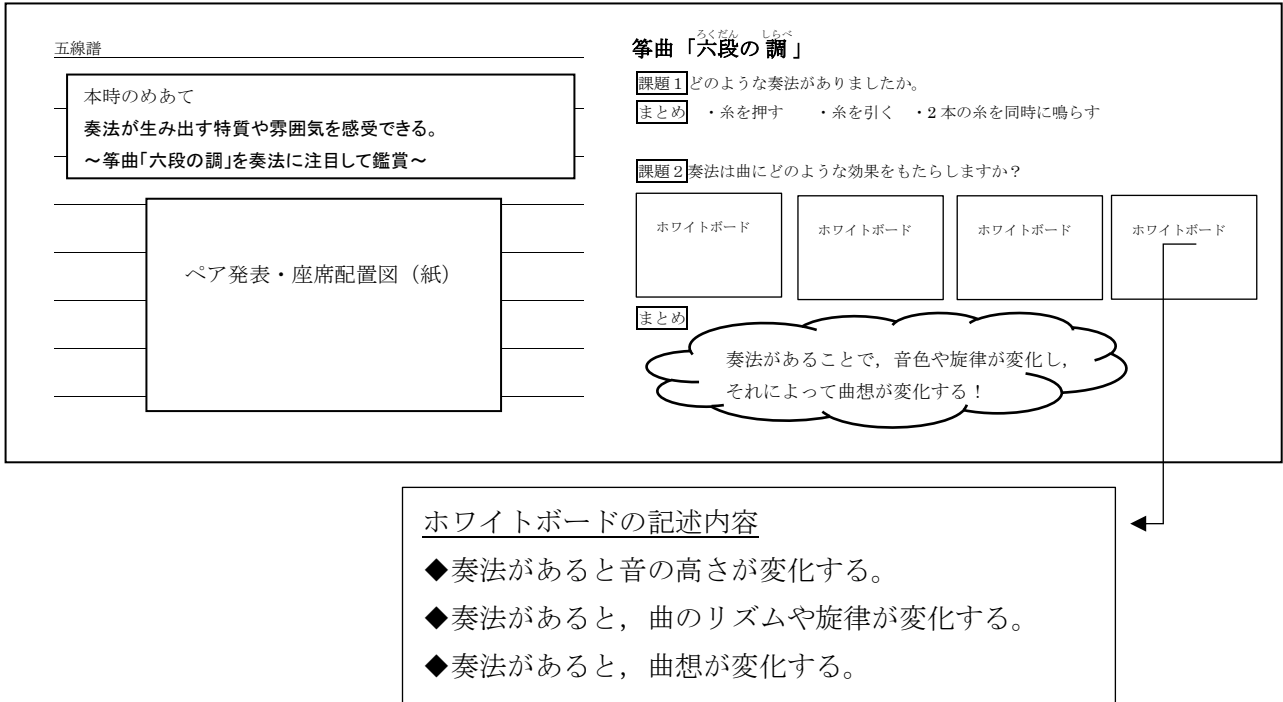
### (3) 本時の学習展開

段階	○学習活動 ◆引き出したい生徒の言葉 (反応)	○指導上の留意点 ●配慮を要する生徒への支援	◇評価規準 ◆資質・能力 (評価方法)	配時
導入	○号令			1
	○パワーポイントを見て、箏についてのクイズに答え、箏に興味・関心を持つ。 ◆楽器をよく観察したり、自分なりの考えを持ってクイズに答えている。	○クイズでは、答えだけでなく、そう考えた理由を述べさせることで、考えを深める。		4
	○本時の流れとめあてを確認する。			1
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>【本時のめあて】</b> 奏法が生み出す特質や雰囲気を感じ取ることができる。                      ~箏曲「六段の調」を奏法に注目して鑑賞~                 </div>				
展開	○「六段の調」より初段の生演奏を鑑賞する。	○いろいろな奏法に着目して聴くように伝える。		8
	「課題1」 どのような奏法がありましたか。 ◆糸を押す ◆糸を引く ① ◆2本の糸を同時に鳴らす 「まとめ1」 六段の調べには、3つの奏法が使われている。	○奏法の名前から、動作を想像させることで、奏法名と動作に関連があることに気づかせる。		15
	○箏のそばに移動する。教師の説明を聞いて、曲に出てき			15

	<p>た奏法（かき爪，押し手，引き色）を弾き試す。</p> <p><b>学び合い</b></p> <p>○「六段の調」の冒頭部部分を取り上げ，奏法あり・なしの演奏を比較して，奏法が曲にもたらす効果をペアで話し合う。話し合ったことを，ホワイトボードに書いて黒板に貼り，全体で共有する。</p> <p>「課題2」</p> <p>奏法は曲にどのような効果をもたらしますか？奏法あり・なしの演奏を比較して考えましょう。</p> <p>◆奏法があると音の高さが変化する。</p> <p>◆奏法があると，曲のリズムや旋律が変化する。</p> <p>◆奏法があると，曲想が変化する。</p> <p>「まとめ2」</p> <p>奏法があることによって，音色や旋律がさまざまに変化し，それによって曲想が変化する。</p>		<p>◇箏曲「六段の調」の音色・速度・旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。 (イ/ワークシート)</p> <p>◇箏の音色や箏曲「六段の調」の旋律・速度に関心を持ち，音楽活動を楽しみながら，主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(ウ/ワークシート，観察)</p>	
<p>ま と め</p>	<p>○フォームで以下のことについてふりかえりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかったこと</li> <li>・面白いと思ったこと</li> <li>・さらに学習してみたいこと</li> </ul> <p>◆ 奏法があることによって，音色や旋律がさまざまに変化し，曲想が変化するということを記述している。</p>		<p>◇箏曲「六段の調」の音色・速度・旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，知覚したことと感受したことの関わりについて考えている。 (イ/フォーム)</p> <p>◇箏の音色や箏曲「六段の調」の旋律・速度に関心を持ち，音楽活動を楽しみなが</p>	<p>5</p>

	○号令	ら、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。(ウ/フォーム)	1
--	-----	---------------------------------------	---

#### (4) 板書計画



#### (5) 評価基準

箏曲「六段の調」を奏法に注目して鑑賞し、奏法が生み出す特質や雰囲気を感じて、ワークシートやフォームに記述している。(思考・判断・表現)

A	B	C
箏曲「六段の調」を奏法に注目して鑑賞し、奏法が生み出す特質や雰囲気を感じて、ホワイトボードやフォームに具体的に記述している。	箏曲「六段の調」を奏法に注目して鑑賞し、奏法について感じたことをホワイトボードやフォームに記述している	箏曲「六段の調」を奏法に注目して鑑賞することができていない。